

【新潟市環境政策課】

令和 2 年度 佐潟再生事業について

【概要】

佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、佐潟の水質改善を図るため、人の手を加えながら佐潟の再生を目指す。令和 2 年度は水門前の砂礫質堆積物の除去を行い、地域関係者と意見交換を行った。

1 佐潟水門前の砂礫質堆積物撤去作業

(1) 実施日

令和 2 年 10 月 16 日

(2) 実施内容

- ・水門前のコンクリートの土台付近に堆積した砂礫質の土砂の撤去を行った。
- ・撤去にはアームの長い重機を用い、水門から土砂の撤去を行った。(写真 1)
- ・土砂の撤去にはできるだけ自然環境への負荷を抑える方法で実施した。
- ・作業日当日は、佐潟に飛来していたハクチョウも餌場に飛び立っており、鳥類への影響はなかった。

(3) 実施後の確認

- ・作業後の 10 月 21 日に、新潟水辺の会加藤さん、佐潟と歩む赤塚の会の中原さんからご協力いただき、水門付近の水深及び底泥の堆積量調査を実施した。
- ・第 31 回佐潟協議会でお示した土砂の堆積状況と比較し、土砂の除去によって、水門近くの泥の層が少なくなったことも明らかとなった。
- ・調査では佐潟橋の上流側の底泥の堆積量も調査したが(写真 2)、佐潟橋の上流側は泥の堆積物がそのまま残っていることが明らかとなった。



写真1 水門前の土砂撤去状況

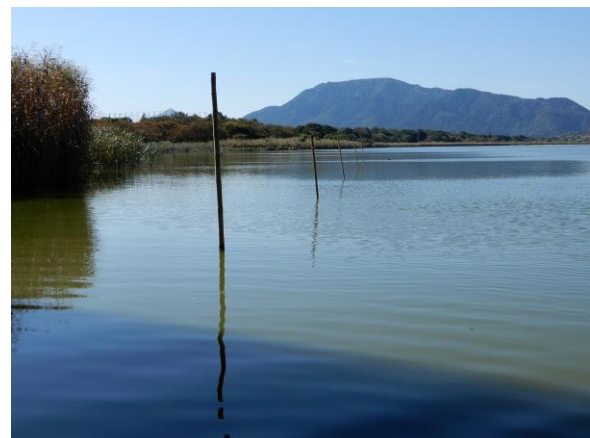


写真2 佐潟橋上流側の調査で設置した杭

2 地域関係者との意見交換

(1) 開催日時

令和2年11月24日 午後3時～午後4時50分

(2) 開催会場

西区赤塚公民館 2階 和室

(3) 参加者

- ・コミュニティ佐潟：石黒会長
- ・佐潟と歩む赤塚の会：涌井会長
- ・新潟水辺の会：加藤功氏
- ・(公財)新潟県都市緑花センター：久原泰我氏
- ・環境政策課、西区地域課

※新潟国際情報大学の小宮山准教授はご欠席であったため、後日会議結果を報告した

(4) 意見交換内容

- 水門前の土砂の撤去及び、湖底の泥の堆積状況調査を地域関係者共有し、水位管理の状況や今後のあり方について意見交換を行った。
- 西区地域課からは、令和2年度に設置したアカミミガメ捕獲機の捕獲実績について報告があった。
- 令和3年度は、かつて佐潟が実施していた水位管理を実施することで関係者の合意を得た。

3 令和3年度事業予定

令和2年度に実施した水門前堆積物の撤去や地域関係者との意見交換結果を踏まえ、年間を通して昔から行われてきた水位管理が実施できるよう、具体的な方法に関して関係者と協議しながら検討する。水位管理を通して、ハスの復活に関する効果やアオコの発生への影響を確認する。

また、地域団体が中心となり、佐潟のシンボルであるハスの復活に向けた取り組みを行う。